

1. 授業のうまい先生になること

- ・授業のうまい先生は「熱意」もあるし「元気」だし「一生懸命」だし「生徒指導」もうまいし「優しい」、そして何より「子ども理解」がしっかりしている。そして「学級づくり」もうまい。授業がうまくなるということは、教師としてのあらゆる条件も成長するということ。だから授業づくりは大切な修業。 授業で子どもも教師も成長！ 授業は教師の命。

2. **おなか** の授業をつくる ・ **お**もしろい授業 **な**かよくできる授業 **か**んがえる授業

- ・ アイディアを生かす→ 教科書通りはおもしろくない 発想を豊かに

3. 授業の健康診断 ～心電図でみる授業検診～

- ・ 正常・・・小さな山が規則よく・・・・・・・・・・・・・一問一答型
- ・ 不整脈・・・山が大きくなったり小さくなったり・・・・・・・・・・・・・心が揺さぶられる
- ・ 死亡・・・まったく平坦・・・・・・・・・・・・・おもしろくない

※うそ発見器は、もっとおもしろいぞ

→授業の成否は、子どもの心をどれくらい揺らすことができるかにかかっている

4. 1時間の展開の特徴

- ・ 水戸黄門型・・・・・・・・・・1話完結（気持ちよく終わる）
- ・ 月9ドラマ型・・・・・・・・・・11話連続（続きが楽しみで終わる）

5. 子どもの心が揺れるのはこんな時

- ・ 自分の考えや行動と違う時 ・ 友だちと意見が食い違う時 ・ 先生と違う時
 - ・ 思ってもみなかったこと（驚き、意外） ・ 本音と建て前がぶつかる時
- えっなんで？ それおかしい！ びっくりした！ おもしろい！ やってみたい！

6. 授業の腕を上げるには

- ・ いい授業を見る→どこまでも見に行く ・ 研究授業をする→1年に1回以上はする

7. 指導案をきちんと書けるようになったら一人前

指導案をみる3つの視点

- ・ このクラスの子どもの様子がみえるか？（子どもの実態）
- ・ この先生が何をめざしているかがみえるか？（教師の意図）
- ・ どう指導しようとしているかがみえるか？（指導の具体）

指導案とは→→→ こんな子どもだから→こんな教材を使って→こんな指導をしたい
(児童観) (教材観) (指導観)

8. あの子この子を意識した授業づくり

クラスで一番しんどい子が目を輝かすにはどうしたらいいか、そこから授業づくりは始まる

9. ほんものはつづく。つづけるとほんものになる（東井義雄）